

高齢者の経験は地域の宝物

歌や踊りで「まるで竜宮城や」

岩村地区の敬老会

九月二十七日(火曜日)十一時三十分より岩村地区社会福祉協議会、岩村地区公民館共催による岩村地区敬老会を開催しましたところ七一名(対象者二四八名)のご出席をいただき、ありがとうございました。



乾杯の後は、楽しい出し物の連続に、涙を流して大喜びの出席者もいた。

島崎宏明館長の開会宣言のあと、橋詰寿人南国市長、浜田幸男南国市議会議長(代理)、坂本孝幸高知県議会議員(代理)の来賓の方々の紹介と祝辞がありました。一南国市では七〇歳以上の方が九二〇〇人を超え、市の人口全体の二割近くになっている現実、高齢者の皆様の豊かな経験や力はご自身の宝であることはも

「この紋所が目に入らぬか」と岩村ひまわり会



岩わかばの「恋の季節」



ぎすがにびしっと揃える紫苑流民謡チーム

と九〇歳(四名)になられた方にお祝いの品物が贈られ、小川信彦さんの乾杯の音頭で祝宴懇親会が始まりました。

ちろん、私たち後に続く者にとって貴重な財産である」など真心のこもったご祝辞をいただきました。

によるプロ級の司会により楽しくて、なごやかな時間はまたたく内に過ぎました。

日章小学校の集会運営委員会の生徒二名による励ましのメッセージや、あけぼの保育所園児三三名の踊りと歌が披露されました。可愛いくて元気な姿は沢山の方に喜んでいただけたと思います。

十七名の新メンバー(七〇歳)の紹介後に、一〇〇歳(一名)

協賛団体の日赤岩村分區、岩村地区環境委員会、JA中央支所、日章地区民生児童委員協議会、お世話をしていただいた役員の皆様、ご協力いただき大変ありがとうございました。紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

(寄稿者・岩村社会福祉協議会会長 内村弘・福船)